一本杉通り復興ニュース No.1

2024.8.3　一本杉通り振興会

一本杉通り復興計画づくりをスタートしました！

一本杉通りにかかわる人々の手によってまちの将来像を描く、
一本杉通り独自の復興計画づくりのための話し合いを始めました。
これから毎月１回の話し合いを重ね、
今年12月のとりまとめを目標に検討を行っていきます。
一本杉通りにお住まいの方、事業をされている方、
そして多くの関わってくださっているみなさまからの
ご意見を反映させた計画にしたいと考えています。
お考えのことがありましたら、ぜひお気軽にお寄せください。
このまちを中長期的にどんなまちにしていきたいかを、
主体的に考えてまいります。

一本杉通り振興会
会長　高澤 久

第１回の話し合いのようす

７月26日に行った第１回の話し合いでは、一本杉通りで復興計画をつくる目的を共有したのち、これからの一本松通りでどんなことを大切にしたいかや現在直面している課題について議論しました。



一本杉通り振興会の役員のみなさんと
寄合い処みそぎにて、話し合いを行いました。

一本杉通りの復興計画をつくるねらい

1. 一本杉通りの価値や課題を再確認
2. みんなでやるべきことを確認
3. まわりの人と協働するきっかけ
4. “そと”へメッセージを発信

一本杉通りにかかわる人みんなで、まちのことや思い描く将来像を共有し
一本杉通り独自の復興計画として発信することで、みんなで同じ方向をむいて、
行政やまちのそとのみなさまとも協働していくことを目指します。

話し合いで出された意見（一部）

商店街の大切なことは「出会い」だと思う。
震災後には再開して抱き合う姿を復興マルシェや店で見た。
それを大切なものとして計画にしたい。

みんなが前向きになれるような計画にしたい。

古くからのまちであることを誇りに思っていかないと。
そういう矜持、誇りを計画に表したい。
自宅の被害は大きいが去るつもりはなく、帰ってきたい。

七尾特有の構造の建物が残っているから
歴史や文化をふまえて作っていきたい。

空き家などを活用して、
一本杉で商売をしたい人を呼び込みたい。

ただの空き地にならないようにしていくことが課題。

一本杉は商売と住むところが一緒にあるところ。
災害公営住宅をつくるのもいいのではないか。

先代から受け継いでいる自分たちが踏ん張らないと
次の世代の子たちがやってみようとならない。

復興計画づくりの進め方

今年12月のとりまとめを目標に、調査や議論を行っていきます。

一本杉通りのみなさまへ８月～９月にかけてお話を伺いたいと考えていますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

現在想定しているスケジュール

- **7月：復興計画づくりスタート**
- **8～9月：調査・ヒアリング・議論**
- **10月：中間とりまとめ・公開会議**
- **11月：議論**
- **12月：とりまとめ**

これからの予定

次回：2024年８月23日　寄合い処みそぎ にて第２回の話し合い
テーマ別に復興計画の内容を議論します。
話し合いへの参加を希望される方、ご意見がある方は、
一本杉通り振興会 高澤までぜひご連絡ください。

企画：一本杉通り振興会　（連絡先：53-0406）
作成：東京都立大学 益邑 明伸・前山 倫子　（連絡先：masumura@tmu.ac.jp）

2024.12.2 誤字脱字を修正